



中 箴 博之 議員

支所のあり方について本質的な議論を！

**支所のあり方**  
 岡本庁中心のあり方には限界があり、支所の権限・裁量枠の拡大が必要では。

○引き続き検討したい。支所業務や組織の見直しのなかで、中心連携拠点的な支所の設置も検討が必要では。

身近な公園の整備

○公園の整備については、二丁ズの把握は。

○市民アンケートやモニタリング調査などで公園整備を望む声は多いと認識している。

○新しい公園整備についての考え方は。

○将来世代への負担を考へる利用予測や管理費用などの議論が必要。



山 篤夫 議員

早生樹植林・「センダ」で地域おこしを！

早生樹植林による林業の活性化策について

○「住民一人当たりの公園面積10㎡」という目標は、「人口割り」ではなく「面積割り」「ブロック割り」とすべきでは。

○小学校区単位というようなブロック割りについての検討は必要と考える。

大型六公事業の透明性

○機械設置工事において大手メーカーの独壇場となる部分をもっと透明化すべきでは。

○契約の基本となる施工体制や金額について、より一層の適正化に努めたい。

○今後を見据え、専門家や機関に中立的な立場でのアドバイスを求めるべきでは。

○不断の見直しを行い、より一層の適正化に取り組みたい。



谷 澤 政司 議員

安全対策向上に向けて消防団員の確保と整備の拡充を

○消防団員確保の現状は。若者の入団促進に新たな取り組みを。

○定員2,100人に対し1,880人。若者はもちろん、新たに消防団活動に理解を図り、入団説明会を開催し団員確保に取り組み。

○災害対応や行方不明者捜索など広範囲な活動を高め、早急な救助活動ができるよう簡易デジタル無線携帯型の器数増加を。

○情報伝達手段が必要な災害対応には簡易デジタル無線携帯型の器数増加を図る。

子供が地域に貢献!!

○荏川町・一之宮町の小学校中学校の子どもたちは地域住民と合同で、郷土を愛する心で地域の伝統行事に貢献

○することに取り組んでいる。

○全市的に同じ教育で魅力あるまちづくりに取り組みを拡充する考えは。

○「郷土に根ざした心に残る教育の創造」の方針のもと、学校教育に地域の方に参画してもらい、郷土教育を連携して推進していきたい。

学校トイレの整備を

○子供たちが支障なく学校生活が出来ることと、地域住民の災害避難所としてのバリアフリー化から、トイレ和式便器から洋式便器に更新整備の考えは。

○学校の改修に併せてトイレ洋式便器化を図り、安全で快適な学校施設の整備を進めたいと考えている。